

《担当者名》向谷地 生良 ikuyoshi@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

わが国の精神保健福祉領域におけるソーシャルワーカー実践は、入院偏重や過剰病床、多剤多量問題、身体拘束に象徴される人権問題、地域移行の困難さなど独自の課題をかかえており、「精神保健福祉の理論と方法」の基礎的な学びを踏まえて、これらの課題に向き合うための現場に即した地域生活支援、家族支援、チームアプローチ、ネットワーキング、ケアマネージメントなどのさまざまなアプローチを具体的な事例に即して学ぶ。

【学修目標】

- 1 精神障害者の地域移行支援、および医療機関と地域の連携に関する実践を事例に基づいて理解する。
- 2 精神障害者の地域生活の現状とこれを取り巻く社会情勢および地域相談援助における実践を事例に基づいて理解する
- 3 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用およびケアマネージメント、コミュニティーワークの実際を事例に基づいて理解する
- 4 地域生活を支援する保健・医療・福祉などの包括的な支援（地域精神保健福祉活動）の意義と展開に事例に基づいて理解する

【学修内容】

| 回  | テーマ                            | 授業内容および学修課題  | 担当者                  |
|----|--------------------------------|--|----------------------|
| 1  | 相談援助活動の展開 - その実際と事例分析          | 疾病や障害に配慮した個別支援の実際の展開と実際について学ぶ  | 向谷地                  |
| 2  | 相談援助活動の展開 - 集団を活用した支援の実際と事例分析  | 疾病や障害に配慮した集団支援の実際の展開と実際について学ぶ  | 向谷地                  |
| 3  | 相談援助活動の展開 - 集団を活用した支援の実際と事例分析  | 事例による相談援助活動を危機介入、居住支援、就労支援、権利擁護、医療観察法に基づく支援の立場から学ぶ                       | 向谷地                  |
| 4  | 精神保健福祉における精神障害者と家族関係           | 精神障害者と家族をめぐる課題と現状を法制度の変遷から学ぶ   | 向谷地                  |
| 5  | 家族支援の方法 1                      | 精神保健福祉領域における家族支援の方法を先行研究や理論、実践モデルから学ぶ                                    | 向谷地                  |
| 6  | 事例による家族支援の方法その 1               | 精神保健福祉領域における家族支援の方法を 3 つの事例に基づき検討することによってソーシャルワーカーの役割に対する理解を深める。         | 向谷地                  |
| 7  | 事例による家族支援の方法その 2               | 精神保健福祉領域における家族支援の方法を 3 つの事例に基づき検討することによってソーシャルワーカーの役割に対する理解を深める。         | 向谷地                  |
| 8  | 地域移行の対象と支援体制                   | 地域移行の対象となる精神障害者の理解とそれを阻害、もしくは促進する支援体制のあり方について学ぶ                          | 向谷地                  |
| 9  | 地域移行の対象と支援体制 - ソーシャルワーカーの役割と連携 | 地域移行を推進する上で重要な役割を担っているソーシャルワーカーの役割をチームアプローチの視点から学ぶ                       | 向谷地                  |
| 10 | 地域移行の対象と支援体制 - 地域移行にかかる組織や機関   | 地域移行には、さまざまな機関が関与し、障害者総合支援法などの法制度との関わりも重要になっている。特に地域の機関の役割や支援法の活用の視点から学ぶ | 向谷地                  |
| 11 | 地域移行の対象と支援体制 - 地域移行を推進する事業の展開  | 地域移行を推進するための事業展開を、地域定着支援事業などの実際の事業に即して学ぶ                                 | 向谷地                  |
| 12 | 地域移行の対象と支援体制 - 事例検討            | 地域移行の事例を、特に長期入院の統合失調症を持つ人の事例を中心に、流れにそって学ぶ                                | 向谷地                  |
| 13 | 地域移行の対象と支援体制 - 事例検討            | 地域移行の事例を、依存症の事例を中心に、流れにそって学ぶ   | 向谷地<br>森 亨<br>(特別講師) |
| 14 | 地域を基盤にした相談援助の主体と対象             | 精神障害者を取り巻く社会的状況を法制度の動向や市町村の事業など地域中心の流れにそって学ぶ                             | 向谷地                  |

| 回  | テーマ  | 授業内容および学修課題  | 担当者                     |
|----|--|--|-------------------------|
| 15 | 地域を基盤にした相談援助の主体と対象 - 地域を基盤とした相談援助活動の事例             | 地域を基盤とした相談援助活動の事例を「相談援助活動」「居住支援」に即して学ぶ   | 向谷地                     |
| 16 | 地域を基盤にした相談援助の主体と対象 - 地域を基盤とした相談援助活動の事例             | 地域を基盤とした相談援助活動の事例を「雇用・就労支援の総合的展開」「災害時の支援」に即して学ぶ  | 向谷地                     |
| 17 | 地域を基盤としたリハビリテーションの基本的な考え方 - 地域ネットワークとアウトリーチ、ボランティア | 地域を基盤としたリハビリテーションを推進する要となる地域ネットワークとアウトリーチについて、その理念や実際の展開を学ぶ  | 向谷地                     |
| 18 | 地域を基盤としたリハビリテーションの基本的な考え方 - 家族会、セルフヘルプグループ         | 地域を基盤としたリハビリテーションを推進する上で家族や当事者、ボランティアとの連携はますます重要性を増している。特に自助グループの育成は、我が国の精神保健福祉の歴史を考えても大きな課題となっている | 向谷地<br>小山内美智子<br>(特別講師) |
| 19 | 精神障害者のケアマネジメント - 原則と意義                             | 精神障害者のケアマネジメントの原則と意義、方法について、歴史と適用と対象、人権の視点を含んだ基本原則についてを学ぶ  | 向谷地                     |
| 20 | 精神障害者のケアマネジメント - 展開過程                              | 精神障害者のケアマネジメントの展開のプロセスとそれを実施する上で不可欠となるチームケアとチームワークの視点から学ぶ  | 向谷地                     |
| 21 | 精神障害者のケアマネジメント - 事例                                | 精神障害者のケアマネジメントの事例をACT、ストレングスモデルをベースに具体的に学ぶ   | 向谷地                     |
| 22 | 精神障害者のケアマネジメント - 事例                                | 精神障害者のケアマネジメントの事例をACT、ストレングスモデルをベースに具体的に学ぶ   | 向谷地                     |
| 23 | 地域を基盤にした支援とネットワーク - 支援の概念と地域アセスメント                 | 地域を基盤にした支援とネットワークを推進する上で必要となる支援の基本概念と地域アセスメントの手法について学ぶ   | 向谷地                     |
| 24 | 地域を基盤にした支援とネットワーク - 支援の具体的な展開                      | 地域を基盤にした支援とネットワークの具体的な展開のあり方を住民参加や地域資源の開発、町づくりの視点からその基本的な考え方を学ぶ                                    | 向谷地                     |
| 25 | 地域を基盤にした支援とネットワーク - 事例                             | 地域を基盤にした支援とネットワークの具体的な展開のあり方を住民参加や地域資源の開発、町づくりの事例から学ぶ  | 向谷地                     |
| 26 | 地域を基盤にした支援とネットワーク - 事例                             | 地域を基盤にした支援とネットワークの具体的な展開のあり方を住民参加や地域資源の開発、町づくりの事例から学ぶ  | 向谷地                     |
| 27 | 地域生活を支援する包括的支援の意義と展開                               | 地域生活を支援する包括的支援の意義と理念をソーシャルインクルージョンの視点から学ぶ  | 向谷地                     |
| 28 | 地域生活を支援する包括的支援の意義と展開                               | 地域生活を支援する包括的支援の実際例を諸外国における実践例をあげながら紹介する  | 向谷地                     |
| 29 | 地域生活を支援する包括的支援の意義と展開                               | 地域生活を支援する包括的支援の実際例を我が国における実践例をあげながら紹介する  | 向谷地                     |
| 30 | まとめ  | 一年に亘る学習と実践経験を振り返り、精神保健福祉の現状理解とソーシャルワーカーの果たすべき役割について考える   | 向谷地                     |

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

受講態度30%、課題レポート20%、試験50%により総合的に評価する

#### 【教科書】

日本精神保健福祉士養成校協会『新・精神保健福祉士養成講座5 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 第2版』 中央法規

(2014)

【参考書】

技法以前(医学書院)  
当事者研究の研究(医学書院)

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格習得のための「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」に該当する

【学修の準備】

精神保健福祉分野のフィールドワーク(学会、研究会、セミナーなどの参加)を積極的に行うことが望ましい  
予習は、次回の授業で行う学習内容について読み込み、理解できたことや疑問点などを明確にしておくこと(80分)。  
復習は、授業で取り上げた学習内容について振り返り、理解を深めること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,4

【実務経験】

精神保健福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

精神科病院、就労支援の現場での臨床経験に基づき、グローバルな視点から個人の自立のテーマに至るまで、精神障害者支援の実践的な知識を講義する